

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題

(現職教員、学部直進者等選抜後期募集)

「小論文」(1/2)

高度教職実践専攻 高度教職実践専修

次の問題に答えなさい。なお、試験終了後、解答用紙(2枚)のみを提出すること。

問題

学習指導要領の改訂、新型コロナウイルス感染症の教育への影響、そしてGIGAスクール構想により、一人一台端末など学校におけるICT環境整備の取組が急ピッチで進められている。

このような状況を踏まえ、中央教育審議会が令和3(2021)年1月26日に公表した「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」の中で「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」を提起している。その「個別最適な学び」と「協働的な学び」の関わりについて、答申の中で以下のように示されている。

学校における授業づくりに当たっては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わさって実現されていくことが多いと考えられる。各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で、「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要である。その際、家庭や地域の協力も得ながら人的・物的な体制を整え、教育活動を展開していくことも重要である。

国においては、このような「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の重要性について、関係者の理解を広げていくことが大切である。

※ 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」

中央教育審議会 令和3(2021)年1月26日 p19

このように、目指すべき「令和の日本型学校教育」の実現を図っていくために、そして全ての子供たちの可能性を引き出すために、どのようにICTを利活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る実践を考えることができるか。「個別最適な学び」と「協働的な学び」が目指している姿について、それぞれ自身の考えを記述するとともに、次頁の図を参考にし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ったり、ICTの利活用を図ったりする実践事例をどのように具体的に構想するか初めに学校種・教科等を示して1200字以上1500字以内で記述しなさい。

なお、実践事例を考える際には、学校種、学年、教科、領域は自由に設定してよい。

< 2枚目に続く >

2 GIGAスクール構想の加速がもたらす学びの変容イメージ

GIGAスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、**多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する**
- ✓ **これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図り、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す**

これまでの教育実践の蓄積

× ICT

=

学習活動の一層充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

「1人1台端末」ではない環境

一斉学習

- ・ 教師が電子黒板等を用いて説明し、子供たちの興味関心意欲を高めることはできる



学びの深化

- ・ 教師は授業中でも一人一人の反応を把握できる
→ 子供たち一人一人の反応を踏まえたきめ細かな指導等、双方向型の授業展開が可能に



個別学習

- ・ 全員が同時に同じ内容を学習する(一人一人の理解度等に応じた学びは困難)



学びの転換

- ・ 各人が同時に別々の内容を学習できる
- ・ 各人の学習履歴が自動的に記録される
→ 一人一人の教育的ニーズ・理解度に応じた個別学習や個に応じた指導が可能に



協働学習

- ・ グループ発表ならば可能だが、自分独自の意見は発信しにくい(積極的な子はいつも発表するが、控えめな子は「お客さん」に)



- ・ 一人一人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる
- ・ 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる
→ 全ての子供が情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる



「1人1台端末」の活用によって充実する学習の例

- ☑ **調べ学習** 課題や目的に応じて、インターネット等を用い、記事や動画等の様々な情報を主体的に収集・整理・分析
- ☑ **表現・制作** 推敲しながらの長文の作成や、写真・音声・動画等を用いた多様な資料・作品の制作
- ☑ **遠隔教育** 大学・海外・専門家との連携、過疎地・離島の子供たちが多様な考えに触れる機会、入院中の子供と教室をつないだ学び
- ☑ **情報モラル教育** 実際に真贋様々な情報を活用する各場面(収集・発信など)における学習

2

文部科学省 WEB サイト「GIGA スクール構想の実現について」の更新資料【令和2(2020)年2月13日】

(配点：200点)

令和5年度 北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験解答用紙
(現職教員、学部直進者等選抜後期募集)

「小論文」(1/2)

高度教職実践専攻 高度教職実践専修	得点	点
受験番号()		

10

20

30

A large grid area for writing answers, consisting of 25 rows and 30 columns. The grid is formed by solid horizontal lines and dashed vertical lines.

10行

20行

25行

